

大分県衛生環境研究センター年報

令和5年度

第 51 号

Annual Report

of

The Oita Prefectural Institute of Health and Environment

2023

大分県衛生環境研究センター

大分県衛生環境研究センター一年報

令和5年度

第 51 号

はじめに

猛暑が止まりません。この原稿を書いているのは令和6年9月中旬ですが県内の日田市では最高気温が37℃です。今日に限ったことではありません。予報では明日、明後日、明々後日も37℃となっています。「暑さ寒さも彼岸まで」は死語になったのでしょうか？

国内だけではありません。サウジアラビアでは本年6月に巡礼に訪れたイスラム教徒が気温50℃を超える猛暑のために1,300人以上が死亡したと報道されています。

WHOは「熱中症などの暑さによる死、マラリア、デング熱、下痢、栄養失調」の5つの原因、いわゆる気候変動関連により2030年から2050年までに世界で毎年25万人が亡くなると推計しています。

ロシアによるウクライナ侵攻、イスラエルとハマスの紛争、北朝鮮の弾道ミサイル開発と世界情勢は不穏な状況が増えています。アメリカではバイデンが急遽大統領選を撤退し、トランプとハリスとの戦いになりました。どちらかになるのでしょうか。裏金問題に端を発した自民党の総裁選は過去例を見ない9名が立候補しています。誰になってどう変わるのでしょうか。

新型コロナが昨年5月に5類となり、インバウンド、アウトバウンドは盛況で、世界は増々小さくなっています。

このように国外や国内が混沌としている中、先を見据えて、冷静に県民の健康のために必要な調査研究、情報提供等を行うのが当センターの役割です。

具体的には近年例を見ない県内での大型食中毒（ノロウイルスによる）の発生、感染症では薬剤耐性菌のまん延、劇症型溶血性レンサ球菌感染症（いわゆる人食いバクテリア）、SFTS等のズーノシス、アレルギー患者の増加、有機フッ素化合物PFOS・PFOA、PM2.5、気候変動適応等の課題について対応する必要があります。

また、県民ニーズを深掘りするために生活環境部等関係事業課に必要な調査・研究の有無を調べる「ニーズ調査」を実施したところ、多くの要望が寄せられました。難しい要望もありましたが、まずはできることから始めることで「頼りにされる衛環研」を目指していきます。

課題が山積する一方、人口減少、人材不足、公務員離れ等、業務を行う環境は厳しくなっています。その状況を打破するためにはデジタル技術やAIの活用等の先端技術の導入が必要です。そして、さらに機能強化するためのカギは、関係機関との連携です。昨年12月に大分大学グローバル感染症研究センターと当センターを所管する生活環境部で連携協定を締結した他、本年遅まきながら倫理規定、利益相反規定を設置し、連携の環境を整備したところです。今後は連携協定に基づく共同研究、九州ブロックの地方衛生研究所、関係機関等との連携を職員が一丸となってやっていきますので期待しててください。

最後にこの年報は、令和5年の試験検査及び調査研究業務を中心にとりまとめたものです。ご高覧のうえ忌憚のないご意見ご提言をお寄せいただければ幸いです。

令和6年12月

大分県衛生環境研究センター

所長 大隈 滋

目 次

1	沿 革	1
2	組織及び分掌事務	2
3	職 員	3
4	施 設	3
5	経 理 執 行 の 状 況	14
6	主 要 機 器	17
7	業 務 概 要	20
8	研 修 状 況	31
9	調 査 研 究	33
	(1) 調査・事例	
	1) 遺伝子検査を用いた自然毒分析法の検討	33
	2) 大分県内に流通する魚介類加工品中のヒスタミン含有量実態調査	39
	3) 大分県における浴用水中のレジオネラ属菌の検出状況（2013－2021）	43
	4) SFTSと日本紅斑熱の臨床データ比較	51
	5) 大分県における光化学オキシダント濃度分布特性についての調査	55
	6) 大分県におけるPM _{2.5} の特徴と発生源由来等の推定について	65
	7) 産業廃棄物最終処分場における有機汚濁物質（COD、BOD、TOC）の測定結果	81
	8) COD _{Mn} 測定方法の変更に伴う測定値への影響に関する調査	85
	(2) 資 料	
	1) 食品の理化学的検査結果（2023年度）	89
	2) 食品添加物の収去検査結果（2012～2023年度）について	91
	3) 九州地方における臨床由来溶血性レンサ球菌の血清型の動向（2023年）	97
	4) 大分県における細菌性下痢症サーベイランスの動向（2023年）	107
	5) 食品の微生物学的検査成績について（2023年度）	111
	6) 感染症発生動向調査からみたウイルスの流行状況（2023年）	115
	7) 感染症流行予測調査について（2023年度）	117
	8) 大分県における湿性沈着中の成分調査（2023年度）	119
	9) 大分県における環境放射能調査（2022年度）	129
	10) 事業場排水監視に係る基準超過事例について（2023年度）	133
10	学 会 発 表 等	137

CONTENTS (Research)

(1) Report and Case Study

1) Development of PCR methods for natural toxins causing food poisoning	33
2) Survey of Histamine Content in Seafood Products Distributed in Oita	39
3) Isolation of Legionella species from public bath water in Oita prefecture, 2013-2021	43
4) Comparison of clinical data between SFTS and Japanese spotted fever	51
5) Survey on distribution characteristics of photochemical oxidant concentrations in Oita Prefecture	55
6) Investigation of Characteristics and Sources of PM2.5 in Oita Prefecture	65
7) Study on organic pollutants (BOD, COD, TOC) of final disposal site for industrial waste	81
8) Examination of the effect of changes in measurement method for COD _{Mn}	85

(2) Technical Data

1) Chemical Examination of Distribution Foods in Oita Prefecture, 2023	89
2) The Survey of the Food Additives	91
3) Serotype of Group A Hemolytic Streptococci Isolated in Kyusyu Area, 2023	97
4) Trend of Bacterial Diarrhea Surveillance in Oita Prefecture, 2023	107
5) Microbiological Examination of Foods, 2023	111
6) The Epidemiological Surveillance of Viral Infections in Oita Prefecture, 2023	115
7) Surveillance of Vaccine-preventable Diseases, 2023	117
8) Investigation of components in Wet Deposition in Oita	119
9) Environmental Radioactivity Level in Oita Prefecture, 2022	129
10) Cases of exceeding standards in effluents monitoring 2023	133

大分県衛生環境研究センター年報

第51号

令和7年1月発行

編集・発行者 大分県衛生環境研究センター

〒870-1117 大分市高江西2丁目8番

TEL (097)554-8980

FAX (097)554-8987

印刷所 株式会社明文堂印刷

〒870-0023 大分市長浜町1丁目2-2

TEL 097-533-8800

FAX 097-533-8933

